

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
中間評価結果

プログラム名	学術知共創プログラム
課題	B：分断社会の超克
研究テーマ名	身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現
研究代表者	床呂 郁哉
所属機関・部局・職	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授
総合評価	
A－ 概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である	
評価コメント	
実践的なワークショップ・イベントや映像を用いた成果発表など、個々のプロジェクトの研究やその発信が活発に行われている点は高く評価できる。 しかし、学術的な研究成果としてそれらがどう取りまとめられ、社会に還元されるのかという点が、いまだ見えてこない。 「多様性と変容」に焦点を当てる本プロジェクトで統括的な成果を出すのは難しいかもしれないが、今後の研究期間においては、少なくとも個々の研究プロジェクトの成果が、社会における分断や孤立の問題の解決にどう役立つのかという点は明示できるようにしていただきたい。そのうえで、数々の取り組みをどうまとめ社会に還元していくのか、その道筋を明確にしたうえで研究を進めることを期待する。	